

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 8 年 6 月 10 日	
久留米市長 殿	
提出者	
住 所	久留米市荒木町白口55
氏 名	福岡県南広域水道企業団
	企業長 甲斐田 忠之
電話番号	0942-27-1561
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	福岡県南広域水道企業団
事業場の所在地	福岡県荒木町白口55番地
計画期間	令和8年4月1日から令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	上水道業
② 事業の規模	送水量 37,136,859 m ³ /年（令和7年度）
③ 従業員数	42名（一般職28名）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	浄水場で発生する産業廃棄物は、沈殿池の沈殿汚泥とろ過池の洗浄排水である。沈殿汚泥は汚泥濃度が約1.4%の泥水、洗浄排水は汚泥濃度がほぼ0%である。これらは、排水処理施設で汚泥濃度を3%に濃縮し、天日乾燥床で脱水後、含水率約75%の汚泥として搬出される。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2,059 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	天日乾燥床より搬出された汚泥は、ケーキヤードに仮置きしている。このケーキを耕運機で攪拌し、天日で再乾燥した後に、田畑の客土や、園芸用培土等に有効利用していた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	790,304 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	789,782 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	
	全処理委託量	1,320 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1,320 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	令和8年度浄水発生土収集運搬及び中間処理業務委託にて処分。 予定数量1200m ³ ×1.1(換算係数)=1,320t		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

添付資料

計画期間：令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日

1 事業概要

(1) 事業概要

福岡県南地域住民の根幹的生活基盤である水道設備の整備を図り、地域発展に寄与するため、昭和 48 年 3 月から 1 日最大給水量 80,200m³ の創設事業に着手し、昭和 51 年 6 月より用水供給を開始している。その後、第一期拡張事業を経て、令和 5 年 3 月に第二期拡張事業を完了し、現在では、計画 1 日最大給水量が 178,050m³ となっている。この間順次給水対象を増やし、現在 8 市 3 町 1 企業団の 12 団体に水道用水を供給している。

(2) 製造概要

筑後川より取水し、凝集沈澱ろ過処理をおこない、構成団体に水道用水を供給している。

(3) 製造等のフローシート【別紙 1】

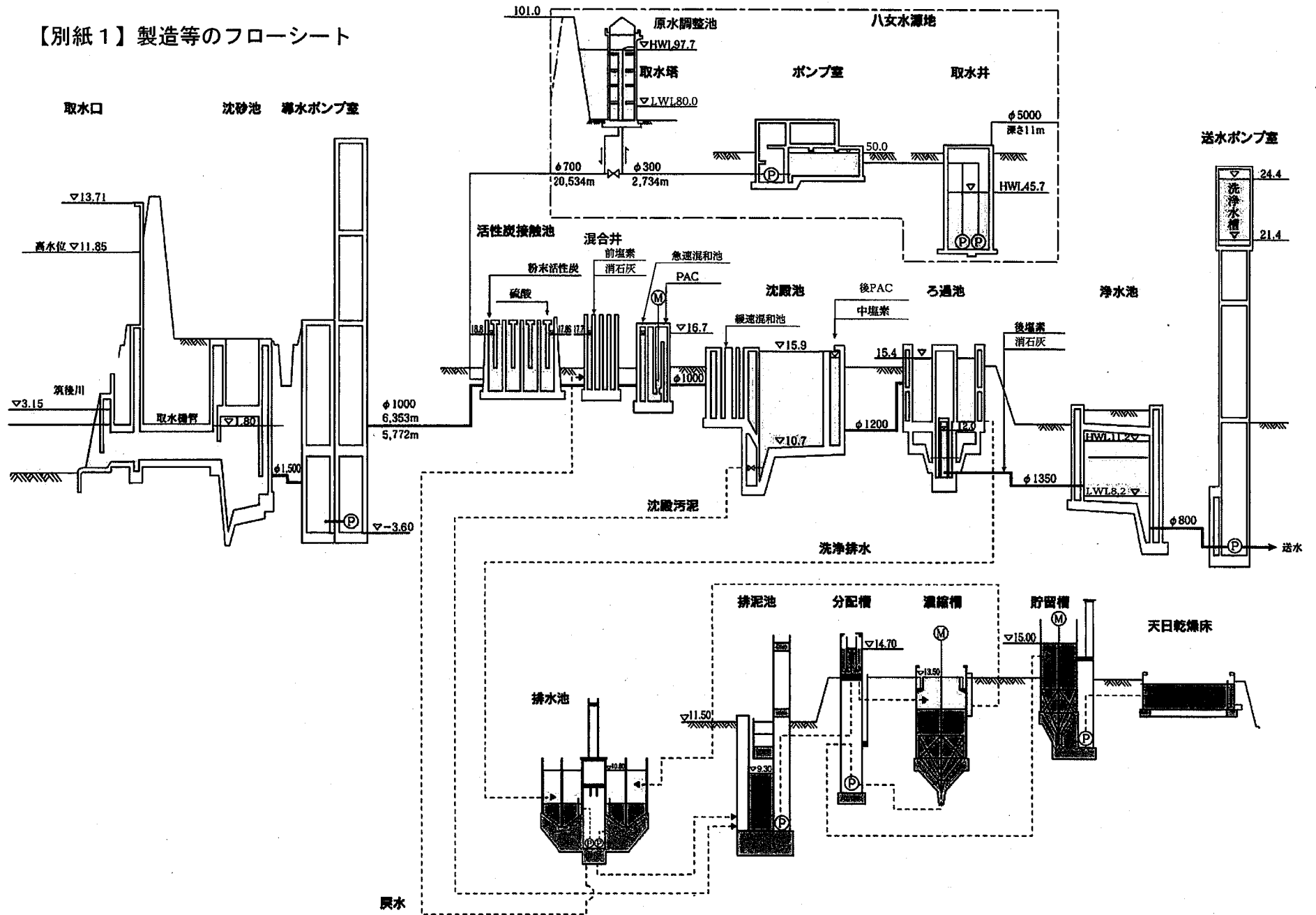
(4) 配置図【別紙 2】

(5) 設備状況【別紙 3】

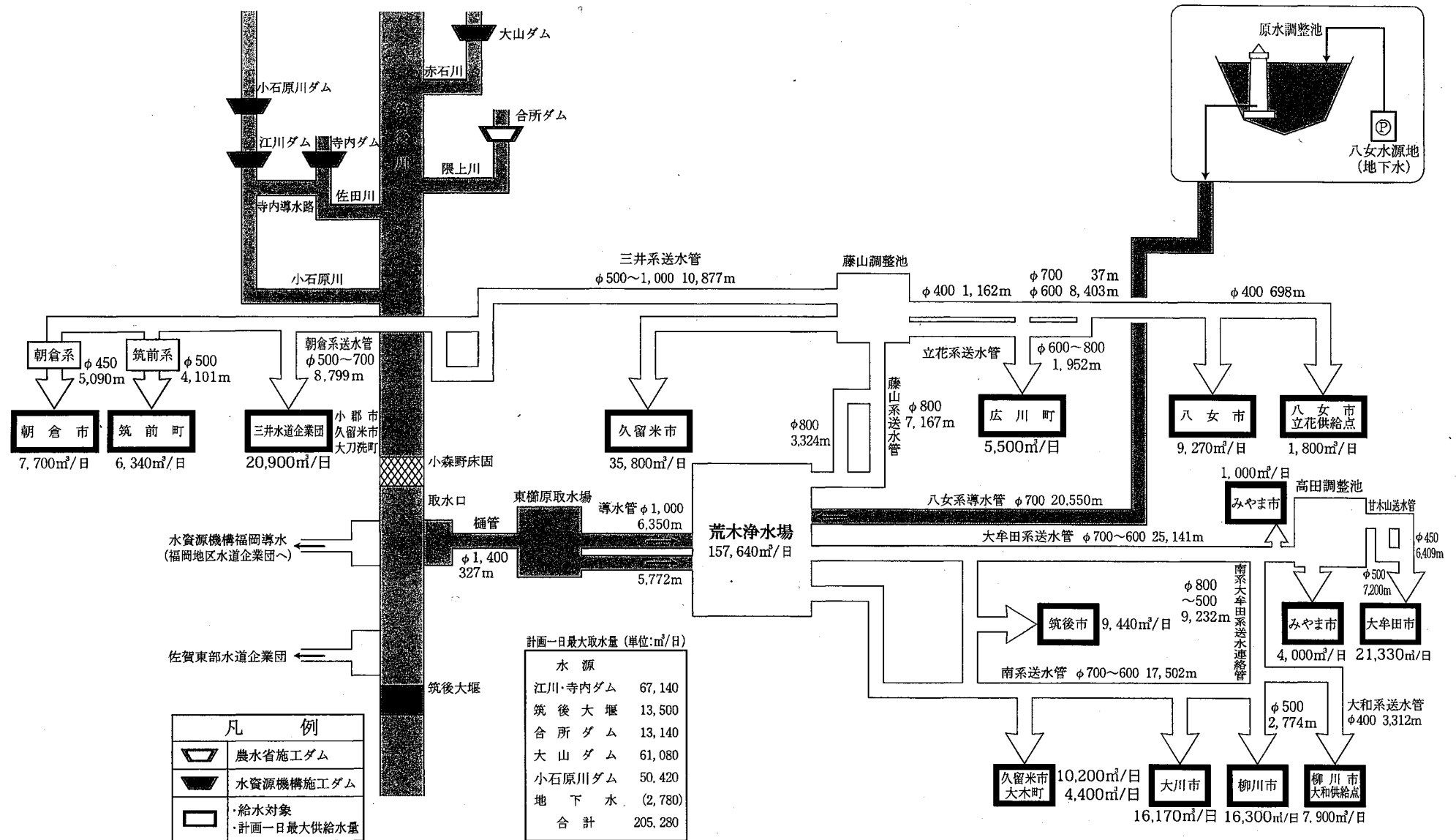
2. 管理体制

(1) 組織図【別紙 4】

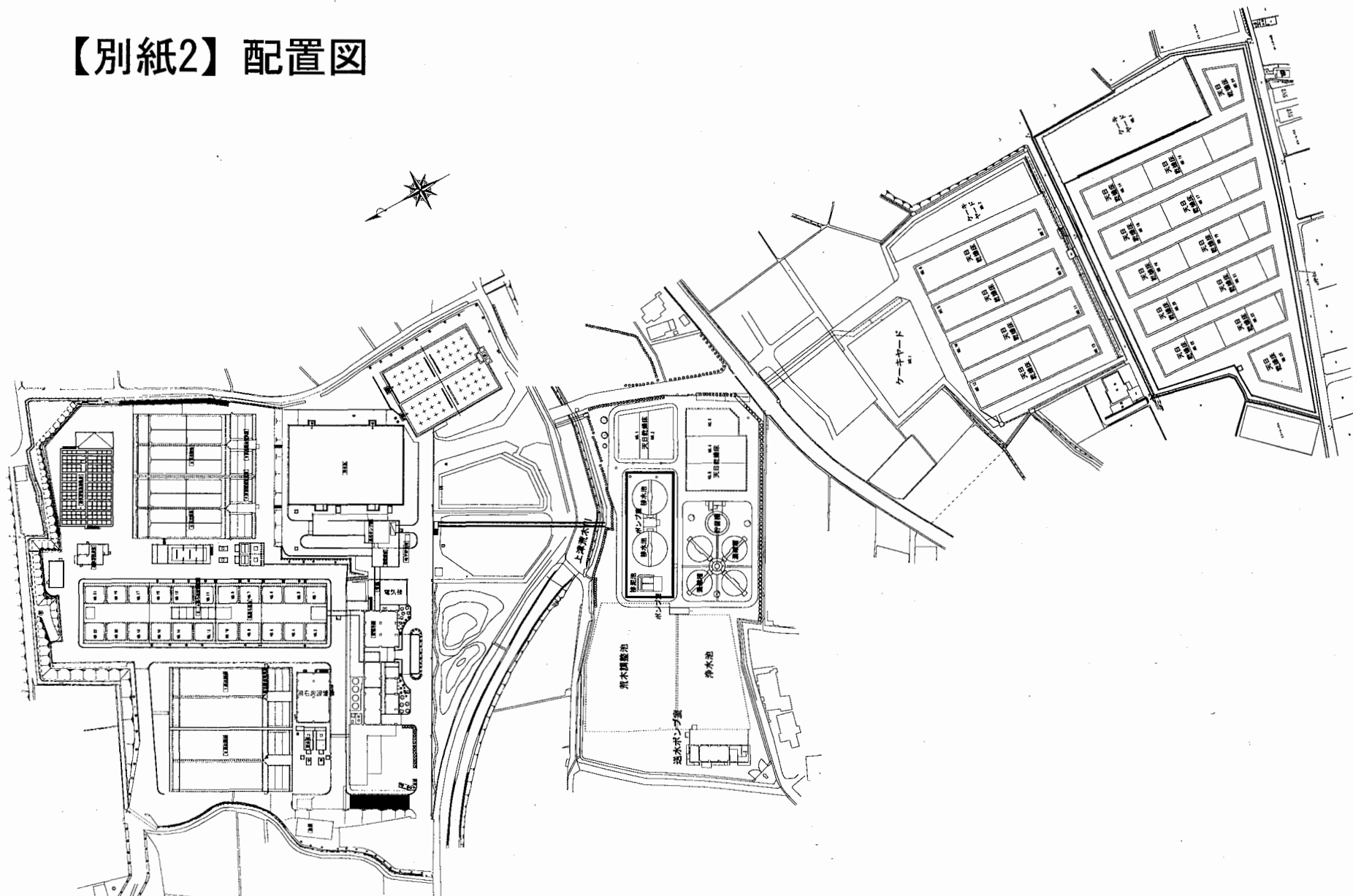
【別紙1】製造等のフローシート



(水道施設のフローシート)



【別紙2】 配置図



縮尺	設計年 日	工事名	図面番号
縮尺 係 数	設 計 製 図	図 面 名	1
		荒木浄水場平面図	
		福岡県南広域水道企業団	

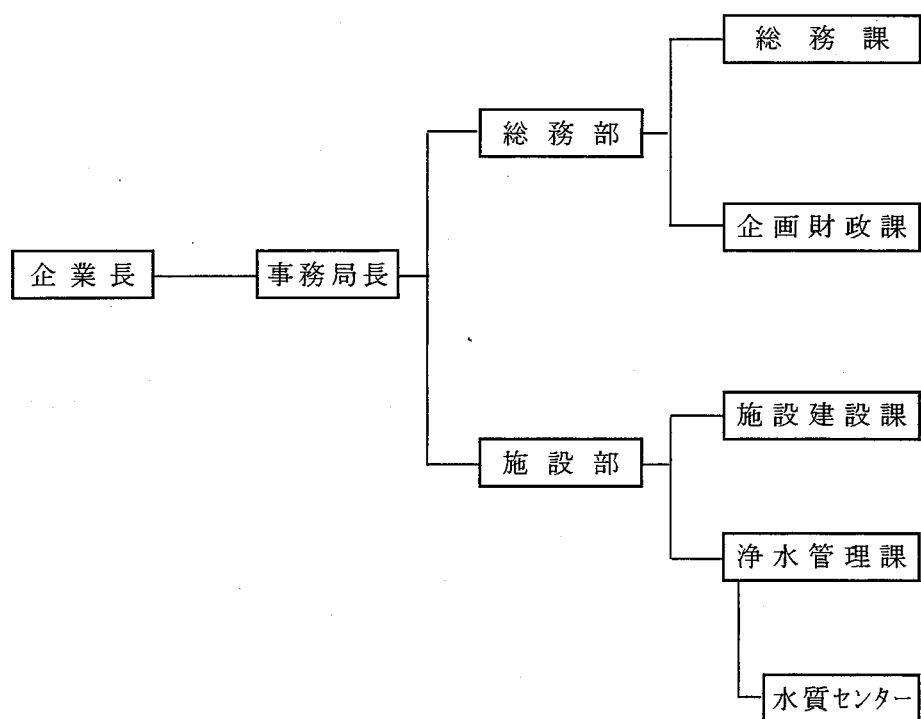
別紙3 設備状況

(1) 取水・浄水・送水施設概要

種別	敷地面積	名 称	内 容	完 成 (更 新) 年 度
東 櫛 原 取 水 場	6,092㎡	取 水 口	RC造 幅10.4m×長さ9.435m×高さ3.0m スクリーン 幅10.4m×長さ4.8m×高さ3.4m エアカーテン 15kW×10㎡/分×0.044MPa	昭和52年度, 拡張平成3年度 平成3年度
		取 水 樋 管	326.7m 1条 (□1.4m×長さ217.9m HP φ 1,500×長さ108.8m)	昭和51年度
		沈 砂 池	1,128㎡ RC造 幅4.0m×長さ23.5m×深さ3.0m×4池	昭和52年度2池, 平成14年度2池
		導 水 ポンプ室	建築延べ面積 1,248.94㎡ B2:ポンプ井、ポンプ室 B1:配管室 1F:発電機室 2F:電気室	平成19年度
		ポ ン プ 井	幅8.5m×長さ39.0m×有効水深4.6m	平成19年度
		導 水 ポンプ	両吸込渦巻ポンプ 4台 φ 450×φ 350 6,600V 315kW 揚程38m	平成19年度3台, 平成22年度1台
		導 水 管	DIP φ 1,000×4,047.5m SP φ 1,000×2,302.3m 合計 6,349.8m DIP φ 1,000×3,481.8m SP φ 1,000×2,290.3m 合計 5,772.1m	昭和51年度 平成19年度
		受 電 設 備	6,600V 契約電力468kW	
		自 家 発 設 備	1,500kVA ガスタービン A重油 燃料消費量606L/時 地下タンク 13,000L	平成19年度
八 女 水 源 戸 地	3,559㎡	ポンプ室・電気室	RC造 B1:ポンプ室 68.82㎡ 1F:電気室 152.67㎡ 延床面積 221.49㎡ 建築面積 186.22㎡	平成5年度
		受 変 電 設 備	6,600V 契約電力54kW	
		取 水 井	内径5.0m×深さ11.8m (GL-11.0m) 内径5.0m×深さ 8.3m (GL-7.5m)	平成5年度 昭和54年度
		取 水 ポンプ	水中ポンプ 3台 φ 125 210V 11kW 揚程15m 1.74㎡/分 水中ポンプ 2台 φ 80 210V 3.7kW 揚程12m 0.90㎡/分	平成6年度 平成19年度
		揚 水 ポンプ	片吸込渦巻ポンプ 3台 φ 100×φ 80 200V 30kW 揚程70m 1.75㎡/分 ポンプ中心高=+46.100 吸込位置=+45.375	平成6年度
		ポ ン プ 井	容量 570.8㎡ 幅12.1m×長さ12.75m×高さ3.7m HWL=+50.100 LWL=+46.400	平成5年度
		揚 水 管	DIP φ 300×2,734m	平成6年度
		導 水 管	DIP φ 700×20,353.6m SP φ 700×196.8m 合計 20,550.4m	平成6年度
	6,009㎡	取 水 塔	内径6.0m×高さ23.2m	平成6年度
		取 水 口	□0.6m×4箇所 (GL +80, 85, 90, 95m)	
		レイクリフター	間歇式空気揚水筒 コンプレッサー 15kW 吐出空気量1,750L/分	平成6年度
荒 木 浄 水 場	105,826㎡	活 性 炭 接 触 池	容量 1,400㎡×2池 東櫛原系原水流量調節弁 φ 700×0.75kW 八女系原水流量調節弁 φ 400×0.2kW φ 350×0.2kW	平成9年度1池, 平成11年度1池 平成5年度 平成5年度, 平成4年度
		混 合 井	幅8.9m×長さ17.2m×深さ3.7m×1池 容量566㎡/池	平成5年度
		急 速 混 和 池	幅4.5m×長さ5.0m×深さ3.6m×2池 容量81㎡/池 幅5.4m×長さ5.0m×深さ3.6m×2池 容量97㎡/池 流量調節弁 φ 700×0.75kW×2台 φ 900×0.75kW×2台 幅4.5m×長さ4.5m×深さ2.69m×2池 容量54㎡/池 幅5.4m×長さ5.4m×深さ2.69m×2池 容量78㎡/池 フラッシュミキサ 11kW×1台/池 計4台	昭和50年度1池, 昭和53年度1池 平成5年度 平成5年度2台, 平成20年度2台 昭和50年度1池, 昭和53年度1池 平成5年度2池 平成20年度2台, 平成27年度2台
		緩 速 混 和 池	幅13.0m×長さ3.5m×深さ3.55m×3連×8池 容量485㎡/池 フロキュレータ 3.7kW×1台, 2.2kW×1台, 0.75kW×1台/池	昭和50, 53年度各2池, 平成5年度4池 平成5年度12台, 平成21, 23年度各6台
		沈 殿 池	幅15.08m×長さ44m×有効水深5.1m×8池 容量3,384㎡/池 クラリファイヤ 水中台車ロープ牽引式 0.75kW×2台/池(8台) 0.40kW×2台/池(8台)	昭和50, 53年度各2池, 平成5年度4池 平成5年度8台 平成23~26年度 2台/年(8台)
		排泥弁	φ 150×0.2kW×48台	平成5年度24台, 平成20, 21年度各12台

種別	敷地面積	名 称	内 容	完 成 (更 新) 年 度
荒 木 淨 水 場	105,826㎡	排 水 池	φ 17.2m×深さ2.0m×2池 容量 465㎡/池 汚泥掻寄機 センターポール型中央駆動式 φ 14.9m×0.75kW×1基/池 汚泥引抜ポンプ スラリーポンプ φ 80×φ 50 0.7㎡/分 戻水ポンプ 3台 片吸込渦巻ポンプ φ 200×φ 150 220V 30kW 揚程22m 4.7㎡/分	昭和51年度 平成21年度 平成14年度 平成18年度1台 平成19年度2台
			幅2.5m×長さ6.0m×深さ2.0m×2池 容量30㎡/池 汚泥引抜ポンプ スラリーポンプ φ 80×φ 50 0.508㎡/分	昭和51年度 平成13年度2台
		濃 縮 槽	φ 13.0m×深さ3.5m×4池 容量 465㎡/池 汚泥掻寄機 円形中央駆動懸垂式 φ 13.0m×0.4kW×1基/池 汚泥引抜ポンプ スラリーポンプ φ 80×φ 50 0.508㎡/分	昭和51年度2池,昭和60年度2池 平成21年度2基,平成27年度1基 平成28年度1基 平成10,12年度各1台,平成19年度2台
			φ 9.1m×深さ3.0m×1池 容量 195㎡/池 汚泥掻寄機 円形中央駆動懸垂式 φ 9.1m×0.4kW×1基 汚泥引抜ポンプ スラリーポンプ φ 100×φ 80 1.12㎡/分	昭和51年度 平成21年度 平成16年度2台
		天 日 乾 燥 床	面積256.0㎡×深さ1.0m×1池 面積373.5㎡×深さ1.0m×1池	昭和52年度2池
			面積343.0㎡×深さ0.8m×1池 面積412.7㎡×深さ0.8m×2池	昭和53年度3池
			面積476.0㎡×深さ0.8m×8池	昭和61年度8池
			面積476.0㎡×深さ0.8m×5池 面積726.0㎡×深さ0.8m×1池 面積500.0㎡×深さ0.8m×1池 面積802.0㎡×深さ0.8m×1池 面積575.0㎡×深さ0.8m×1池 面積266.0㎡×深さ0.8m×1池 面積430.0㎡×深さ0.8m×1池 面積651.0㎡×深さ0.8m×1池 総面積 11,935.9㎡	平成16年度12池
高 田 中 継 ポ ン プ 場	3,595㎡	受 電 設 備	6,600V 契約電力407kW	
		自 家 発 設 備	440V 625kVA 900PS ガスタービン A重油 燃料消費量315L/時 地下タンク 4,000L	昭和61年度
		ポ ン プ 設 備	大牟田市送水ポンプ 4台 横軸多段タービンポンプ φ 200×φ 150 440V 132kW 揚程90m 4.98㎡/分	平成21年度
			みやま市配水ポンプ 3台 横軸多段渦巻ポンプ φ 150×125 440V 30kW 揚程45m 2.50㎡/分	平成26年度
		薬 注 設 備	次亜注入ポンプ 0.4kW×3台 200V 4~76mL/分 0.3MPa	平成25年度
		調 整 池	1号調整池 底面積 314㎡×深さ6.5m×1池 容量2,000㎡ 2号調整池 底面積1,077㎡×深さ6.5m×1池 容量7,000㎡	昭和60年度 平成11年度
藤 山 調整池	10,851㎡	薬 注 設 備	次亜注入ポンプ 2台 100V 100ml/分 次亜注入ポンプ 2台 100V 200ml/分	平成14年度 平成22年度
			調 整 池 底面積4,725㎡×深さ5.1m×1池 容量24,100㎡	平成14年度

別紙4 組織図



【別紙5】排水処理フロー

